

第4章 樹林の状況

4-1 調査の概要

1) 調査方法

航空写真判読より、道路上の樹木を除く樹冠投影面積（樹木ポリゴン面積）が300㎡で、航空機レーザーデータによる樹高測定より樹高7m以上の樹木で構成される樹木集団（以下「樹林」という。）を抽出し、箇所数、面積等の集計を行った。調査対象となる樹林は、航空写真において樹冠の連続性が認められるものは、同一用途であれば、複数の敷地にまたがる場合も樹林として抽出を行っている。

樹林の形態区分を表4-1に示す。形態区分の判断は、平成23年度東京都土地利用現況データの用途分類に基づき行っている。

表4-1 形態区分

屋敷林	家屋と一体となっている屋敷・庭園内の樹林。但し、中高層集合住宅は含まない。
社寺林	神社仏閣境内の樹林。付属の墓地等も含む。
公園樹林	公園、緑地内の樹林
集合住宅樹林	中高層集合住宅敷地内の樹林
その他樹林	学校等の公共公益施設、民間施設に付帯する樹林や雑木林など単独の樹木地などの上記以外の樹林

4-2 調査結果

1) 樹林の現況

(1) 樹林の状況

区民活動センター別及び町別の樹林の分布状況を表 4-2、表 4-3 及び図 4-1、図 4-2 に示す。

区全域の樹林は 238 箇所、478,327 m²であり、区全体面積のうち樹林が占める割合は、3.07%であった。また 1 箇所当たりの平均面積は 2,010 m²である。

区民活動センター別の箇所数で最も多いのは南中野の 32 箇所、次いで江古田地域の 30 箇所、桃園地域の 25 箇所であった。町別で最も箇所数が多いのは、中野の 29 箇所、次いで上高田の 22 箇所、東中野の 21 箇所であった。

樹林面積及び樹林率は、区民活動センター別では、江古田地域が 140,042 m²、樹林率が 9.80%と最も高く、町別においても江古田の樹林面積が 79,932 m²と最も高く、樹林率も 10.45%と松が丘の 10.86%に次いで高かった。これは、江古田の森公園、みずのとう公園、氷川神社等の社寺林等が、比較的規模の大きい樹林群を形成しているためである。次に、樹林面積が大きい区民活動センター別の地域は、新井地域の 56,613 m²、次いで南中野地域の 43,154 m²であった。町別では、江古田に次いで新井が 54,704 m²と高く、松が丘が 39,814 m²であった。南中野地域では、弥生公園、丸太公園等の小規模な樹林、都立富士高等学校/都立富士高等学校附属中学校、東京大学教育学部附属中等教育学校の施設緑地や社寺林が主な樹林であった。新井では、平和の森公園と新井薬師公園が主な樹林群を形成している。松ヶ丘においては哲学堂公園や江古田公園において樹林群が確認された。このことから、区内の主な樹林は公園や学校敷地内の緑や社寺林等により形成されていることが分かる。

表 4-2 区民活動センター別樹林の状況

区民活動センター	区民活動センター面積 (㎡)	箇所数	樹林面積 (㎡)	1カ所当たり面積 (㎡/箇所)	樹林率
南中野	1,485,443	32	43,154	1,349	2.91%
弥生	763,288	4	7,695	1,924	1.01%
東部	1,381,722	20	26,899	1,345	1.95%
鍋横	723,343	8	4,362	545	0.60%
桃園	1,117,359	25	28,922	1,157	2.59%
昭和	771,977	9	7,624	847	0.99%
東中野	336,573	12	11,713	976	3.48%
上高田	854,059	20	41,449	2,072	4.85%
新井	724,964	7	56,613	8,088	7.81%
野方	1,283,341	16	19,147	1,197	1.49%
沼袋	890,257	10	19,128	1,913	2.15%
江古田	1,429,394	30	140,042	4,668	9.80%
大和	744,026	7	12,315	1,759	1.66%
鷺宮	2,052,314	22	38,962	1,771	1.90%
上鷺宮	1,017,009	16	20,302	1,269	2.00%
区全体	15,575,070	238	478,327	2,010	3.07%

※町面積は図形面積とする。

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

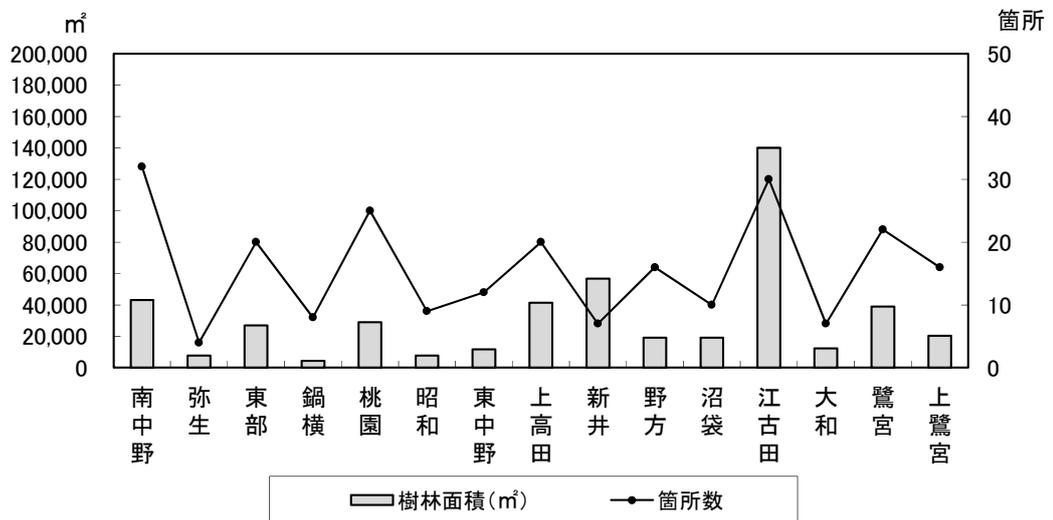


図 4-1 区民活動センター別の樹林の状況

表 4-3 町別樹林の状況

町名	町面積 (㎡)	箇所数	樹林面積(㎡)	1カ所当たり 面積(㎡/箇所)	樹林率
南台	827,725	15	17,759	1,184	2.15%
弥生町	1,010,878	17	25,395	1,494	2.51%
本町	1,076,347	13	12,406	954	1.15%
中央	1,153,593	14	15,577	1,113	1.35%
東中野	950,229	21	26,068	1,241	2.74%
中野	1,456,626	29	34,192	1,179	2.35%
上高田	1,005,384	22	42,330	1,924	4.21%
新井	797,140	6	54,704	9,117	6.86%
沼袋	672,514	7	16,590	2,370	2.47%
松が丘	366,537	4	39,814	9,954	10.86%
江原町	515,468	14	22,834	1,631	4.43%
江古田	765,132	15	79,932	5,329	10.45%
丸山	274,032	4	5,586	1,396	2.04%
野方	927,614	13	14,111	1,085	1.52%
大和町	699,276	5	11,016	2,203	1.58%
若宮	662,455	5	2,847	569	0.43%
白鷺	611,469	15	33,114	2,208	5.42%
鷺宮	885,031	4	4,277	1,069	0.48%
上鷺宮	917,618	15	19,775	1,318	2.16%
区全体	15,575,070	238	478,327	2,010	3.07%

※町面積は図形面積とする。

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

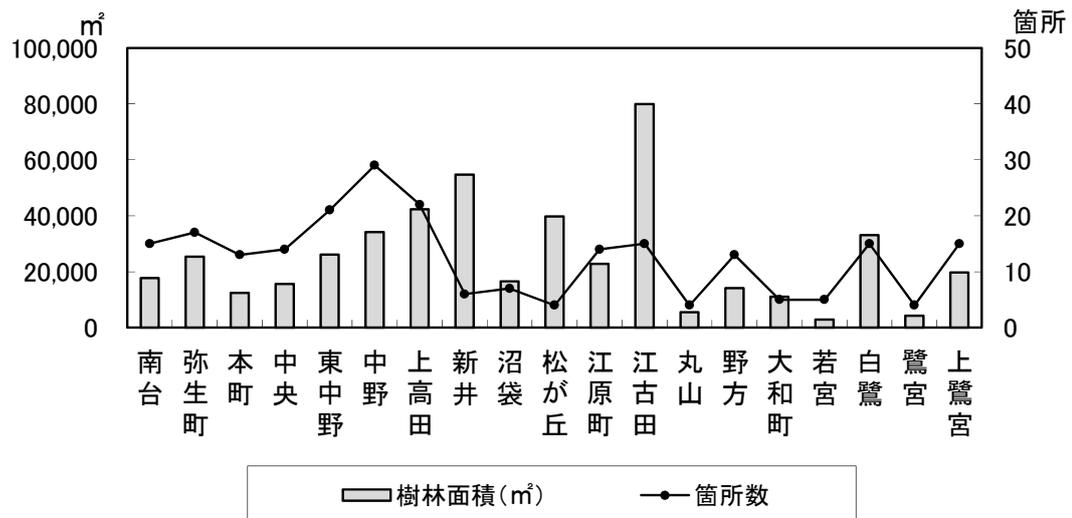


図 4-2 町別の樹林の状況

次に区民活動センター別及び町別の樹林と樹林以外の面積割合を図 4-3、図 4-4 に示す。

江古田の森公園や平和の森公園等の規模の大きな公園等が位置する江古田地域及び新井地域は、他の地域と比較して樹林の割合が高く、樹林面積が4割以上を占める。

町別では、江古田の森公園等の規模の大きな公園が位置する江古田、哲学堂公園を有する松が丘、平和の森公園等を有する新井、また白鷺においては屋敷林や公社鷺宮西住宅等で樹林郡が確認され、樹林が樹木面積の5割以上を占める。それ以外の地域では樹林以外の樹木面積が占める割合が高いことから、中野区全体としては、まとまった緑地が少ないことが分かる。

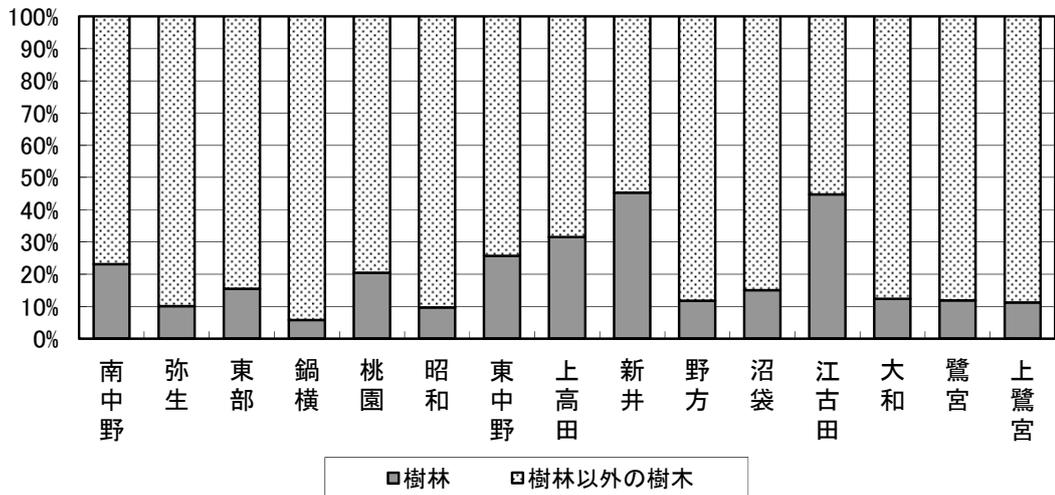


図 4-3 区民活動センター別の樹林と樹林以外の樹木の面積割合

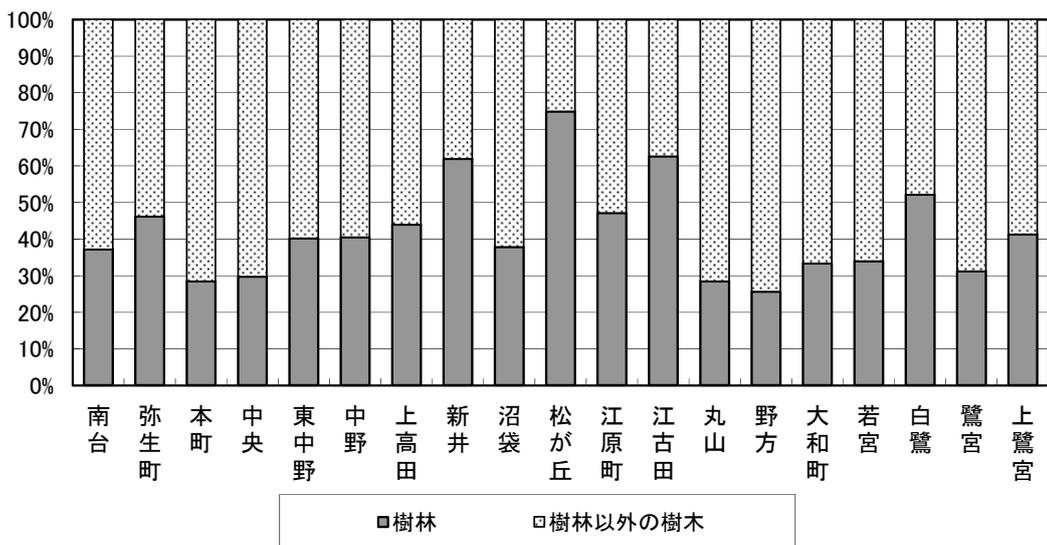
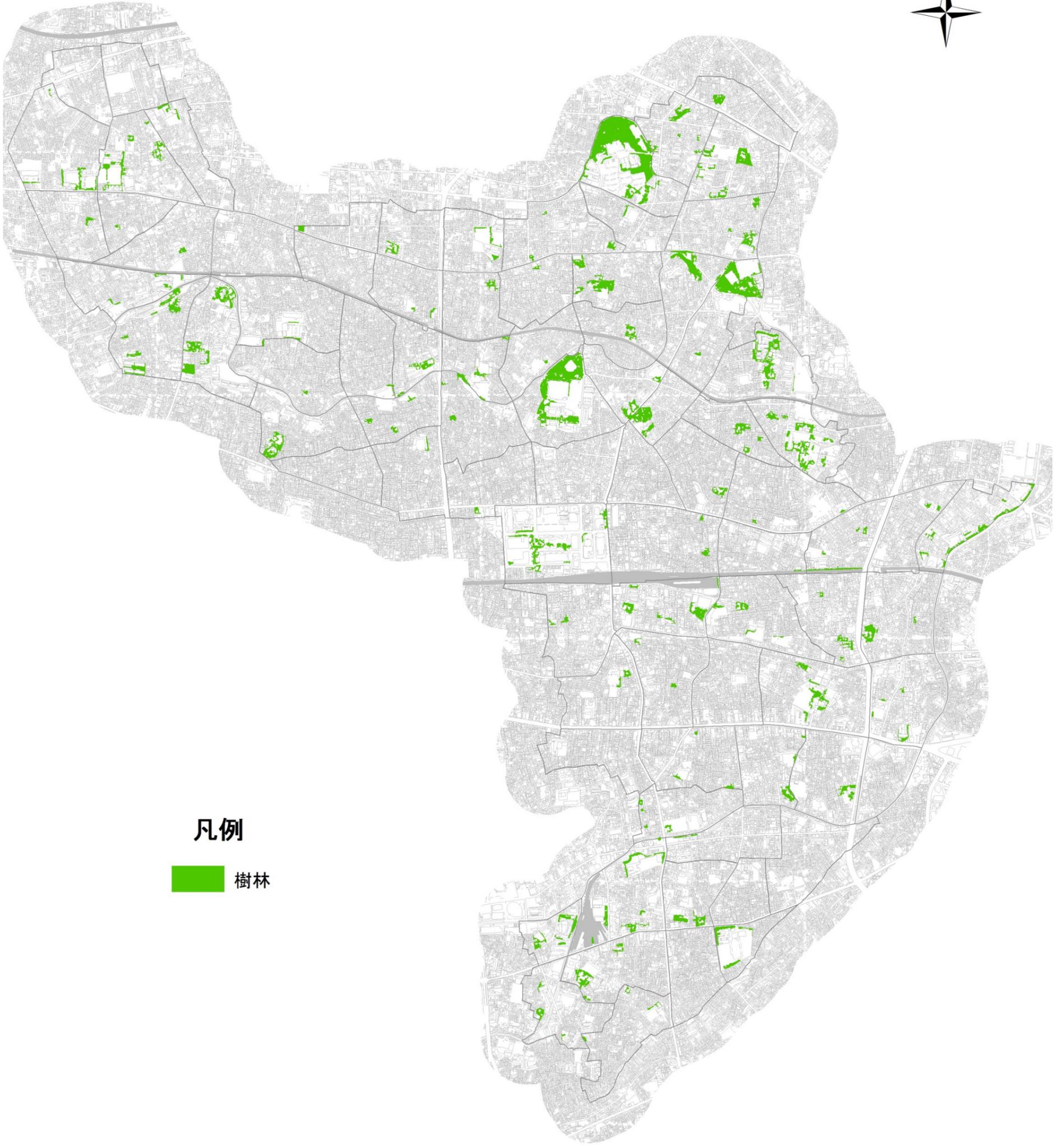


図 4-4 町別の樹林と樹林以外の樹木の面積割合



凡例

 樹林

1,000 500 0 1,000メートル



この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有しています。（利用許諾番号）MMT 利許第 27009 号-51

図 4-5 樹林分布図

(2) 樹林の形態別・規模別の状況

樹林の形態別の状況を表 4-4、図 4-6、図 4-7 に示す。

形態区分別の樹林箇所数では、その他の樹林（教育施設等の樹林地）が 91 箇所と最も多く、次いで公園の樹林が 44 箇所であった。

樹林の面積規模別の箇所数では、500～1,000 m²の樹林地が 79 箇所と最も多く、次いで 1,000～3,000 m²の樹林地が 67 箇所であった。

形態区分別の樹林面積では、公園の樹林が最も大きく 18.43 ha で、全体面積の 38.53%であった。次いでその他の樹林が 12.61ha で 26.36%、社寺林が 8.52ha で 17.81%であった。

公園の樹林は 3,000 m²以上の樹林地が 144,483 m²（10 箇所）と最も大きく、公園の樹林全体の約 8 割を占める。その他の樹林は、3,000 m²以上の樹林地が 58,084 m²（10 箇所）と公園の樹林に次いで大きく、その他の樹林全体の約 5 割を占める。社寺林は、1,000～3,000 m²規模及び 3,000 m²以上の樹林面積が社寺林全体の約 9 割を占めることから、小規模な社寺林は少なくある程度の規模以上のものが多いことが分かる。屋敷林については、1,000～3,000 m²及び 3,000 m²以上の樹林地が屋敷林全体の約 8 割を占めるが、箇所数としては 500 m²未満の屋敷林が 10 箇所と最も多い。集合住宅では、500～1,000 m²規模の樹林地が 21 箇所と最も多く、集合住宅の樹林全体の約 4 割を占める。

表 4-4 樹林の形態別規模別の状況

形態区分	500m ² 未満		500～1000m ²		1000～3000m ²		3000m ² 以上		合計	
	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)
屋敷林	10	3,583	8	5,072	9	16,184	5	19,084	32	43,923
社寺林	3	1,092	5	3,743	16	30,463	7	49,868	31	85,166
公園の樹林	6	2,088	13	9,127	15	28,600	10	144,483	44	184,298
集合住宅の樹林	9	3,536	21	13,854	7	11,391	3	10,094	40	38,875
その他の樹林	29	11,109	32	23,936	20	32,937	10	58,084	91	126,066
合計	57	21,407	79	55,732	67	119,575	35	281,613	238	478,327

※面積は少数第1位を四捨五入するため集計値と合わない場合がある。

※2つ(以上)の形態にまたがっている場合は、面積が大きい方に算入。

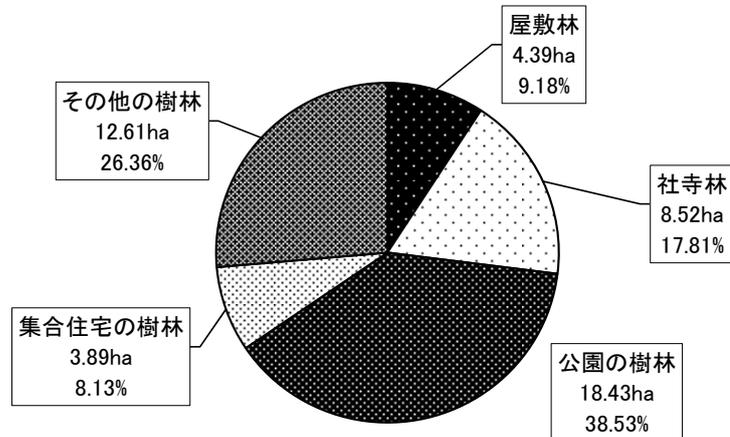


図 4-6 樹林の形態別状況

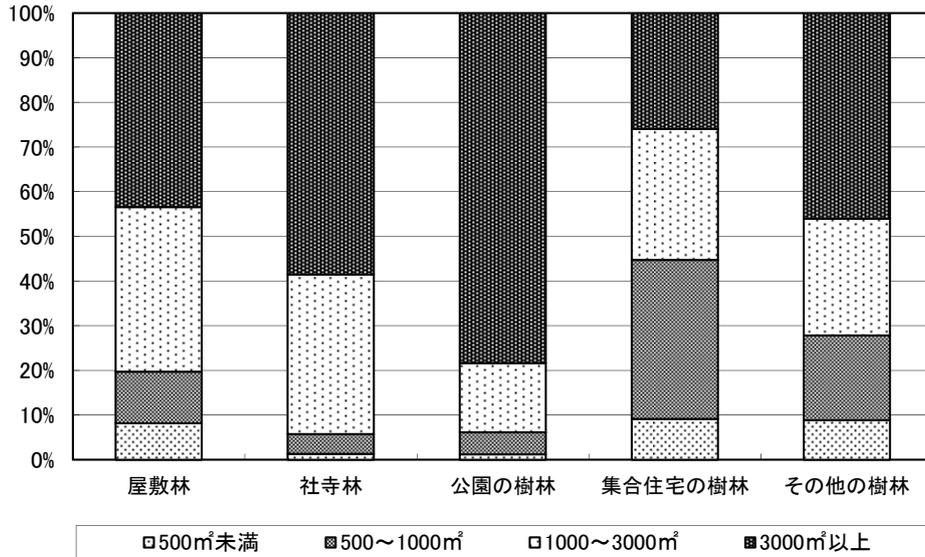


図 4-7 形態別の規模別樹林面積の割合

次に町別の樹林形態別の状況を表 4-5、図 4-8 に示す。

屋敷林は、白鷺が 10,801 ㎡ (4 箇所) と最も大きい。次いで東中野が 6,877 ㎡ (6 箇所) であった。

社寺林が多い地域は上高田で 22,222 ㎡ (9 箇所) である。上高田地域には敷地面積の大きい社寺が点在しており、広い社寺林も有している。同様に大和町は 7,659 ㎡ (1 箇所)、中央は 7,653 ㎡ (4 箇所)、白鷺は 7,354 ㎡ (1 箇所) と社寺林の面積が比較的大きい。

公園の樹林は、箇所数では中野が 5 箇所と最も多く、樹林面積では江古田が 51,609 ㎡と最も大きい。これは規模の大きな江古田の森公園を有することが要因である。同様に、箇所数は 3 箇所と少ないが、哲学堂公園を有する松が丘(39,200 ㎡)と平和の森公園を有する新井(40,244 ㎡)の公園の樹林面積が大きい。

集合住宅の樹林は、白鷺が 9,875 ㎡と最も大きく、主に比較的規模の大きい公的集合住宅(公社鷺宮西住宅)を有することが要因として挙げられる。次いで集合住宅の樹林面積では江原町が 7,141 ㎡、弥生が 6,038 ㎡と大きい。

その他の樹林は、中野が 19,827 ㎡ (20 箇所) と最も大きい。次いで江古田の 16,060 ㎡ (3 箇所)、上鷺宮の 15,917 ㎡ (11 箇所) であった。その他の樹林は中野全体の約 6 割を占め、大学(早稲田大学、帝京平成大学、明治大学の敷地周辺の線状の樹林)、公共公益施設(公社中野駅前住宅や産業振興センター周辺の樹林群)で確認された。

表 4-5 町別の樹林形態別の状況

町名	屋敷林		社寺林		公園の樹林		集合住宅の樹林		その他樹林		合計	
	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)
南台	1	1,945	2	5,098	4	2,055	3	2,040	5	6,621	15	17,759
弥生町	1	2,645	2	3,198	2	5,298	6	6,038	6	8,217	17	25,395
本町	4	4,936	3	4,708	2	952	0	0	4	1,810	13	12,406
中央	2	1,060	4	7,653	2	3,422	1	851	5	2,592	14	15,577
東中野	6	6,877	1	5,231	4	1,939	3	1,916	7	10,105	21	26,068
中野	1	1,102	1	1,477	5	9,895	2	1,891	20	19,827	29	34,192
上高田	1	3,656	9	22,222	4	3,415	4	4,755	4	8,282	22	42,330
新井	0	0	1	2,026	3	40,244	0	0	2	12,435	6	54,704
沼袋	1	664	3	11,543	1	2,950	0	0	2	1,433	7	16,590
松が丘	0	0	0	0	3	39,200	0	0	1	614	4	39,814
江原町	3	1,226	0	0	1	6,840	8	7,141	2	7,627	14	22,834
江古田	2	3,500	3	6,999	3	51,609	4	1,764	3	16,060	15	79,932
丸山	0	0	0	0	1	2,520	0	0	3	3,066	4	5,586
野方	3	3,528	0	0	3	4,036	2	1,716	5	4,831	13	14,111
大和町	0	0	1	7,659	2	1,615	0	0	2	1,743	5	11,016
若宮町	0	0	0	0	0	0	1	580	4	2,268	5	2,847
白鷺	4	10,801	1	7,354	1	3,574	5	9,875	4	1,511	15	33,114
鷺宮	1	1,324	0	0	2	1,844	0	0	1	1,108	4	4,277
上鷺宮	2	660	0	0	1	2,890	1	308	11	15,917	15	19,775
区全体	32	43,923	31	85,166	44	184,298	40	38,875	91	126,066	238	478,327

※面積は少数第1位を四捨五入するため集計値と合わない場合がある。

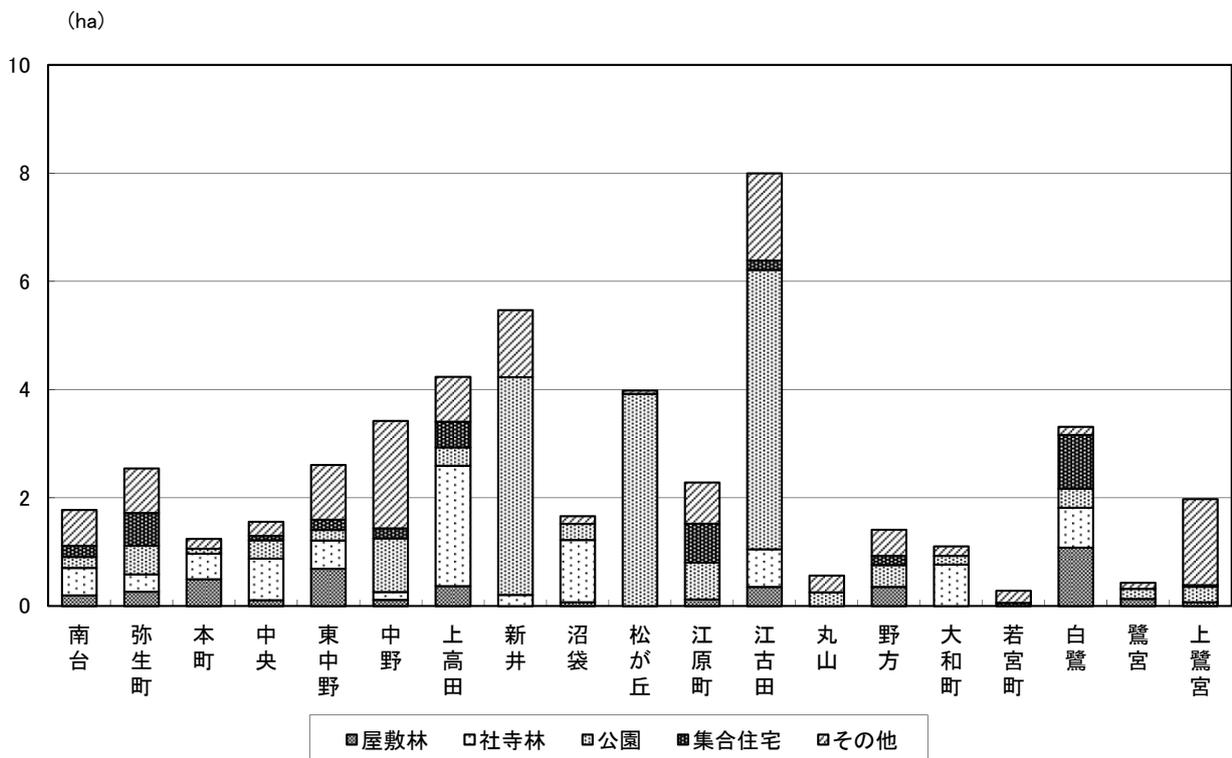


図 4-8 町別の形態別樹林面積

4-3 樹林の推移

平成19年度調査から平成28年度調査の樹林の経年変化を調査するに当たり、平成28年度調査では平成23年度東京都土地利用現況データを用いて調査を行った。なお、平成19年度調査で用いた東京都土地利用現況データは、敷地単位で作成されていたが、平成23年度東京都土地利用現況データは、敷地単位ではなく、建物用途ごとに作成されていたため、樹林の箇所数及び面積の数え方は異なる。そのため、平成19年度調査においても平成28年度調査と比較条件を揃えるため、敷地境界について平成23年度東京都土地利用現況データを用いて再度集計を行った。

1) 区民活動センター別・町別の経年変化

平均高さが7m以上、面積300㎡以上の樹林の区民活動センター別の変化を表4-6に示す。

平成19年度調査より、区全体では箇所数は-68箇所の減少、樹林面積は-116,407㎡の減少であった。そのうち、樹林面積が増加した地域は6地域、減少した地域は9地域であった。区民活動センター別で最も減少面積が大きかったのは、江古田地域の-97,495㎡（8箇所）であり、区全体の減少した樹林地の約8割を占める。減少の主な要因は、江古田三丁目地区の国家公務員宿舎跡地を活用した再開発による一時的な更地化に伴い樹林地が減少したことによる。最も増加面積が大きいののは、上高田地域で11,460㎡（4箇所）であった。増加の主な要因は社寺林や公園等における樹木の生長によるものであった。

表4-6 区民活動センター別の平成19年度調査と平成28年度調査の樹林の経年変化

区民活動センター	平成19年調査		平成28年調査		(平成28年)-(平成19年)	
	箇所	樹林面積(㎡)	箇所数	樹林面積(㎡)	箇所数	樹林面積(㎡)
南中野	25	32,567	32	43,154	7	10,587
弥生	7	11,455	4	7,695	-3	-3,759
東部	17	20,028	20	26,899	3	6,872
鍋横	8	5,571	8	4,362	0	-1,208
桃園	20	43,345	25	28,922	5	-14,423
昭和	6	6,416	9	7,624	3	1,208
東中野	17	8,585	12	11,713	-5	3,128
上高田	16	29,989	20	41,449	4	11,460
新井	13	41,346	7	56,613	-6	15,268
野方	24	23,342	16	19,147	-8	-4,195
沼袋	12	19,865	10	19,128	-2	-738
江古田	38	237,537	30	140,042	-8	-97,495
大和	17	17,101	7	12,315	-10	-4,786
鷺宮	60	74,020	22	38,962	-38	-35,058
上鷺宮	26	23,568	16	20,302	-10	-3,266
区全体	306	594,734	238	478,327	-68	-116,407

※面積は少数第1位を四捨五入するため集計値と合わない場合がある。

町別の樹林の経年変化を表 4-7 に示す。

町別の樹林の変化では、区全体の樹林面積で減少が-116,407 m²であった。樹林面積の減少が最も大きいのは江原町で-75,176 m²の減少であった。公社江古田住宅等の古い住宅団地の樹林の減少の他、民有地の建築計画によっても、多くのまとまった樹林の消失が確認された。次いで、江古田が-27,619 m²の減少、中野が-16,628 m²の減少であった。中野は中野四丁目地区地区計画整備事業に伴う樹林地の減少、及び公社中野駅前住宅の樹林地の減少が確認された。中野四丁目地区地区計画整備事業では新たに公園や施設緑地も整備されており、今後は樹木の生長に伴い樹林面積は増加するものと思われる。

最も樹林面積の増加が大きいのは新井の 13,754 m²、次いで上高田 11,997 m²であった。新井では、新井薬師公園及び平和の森公園における樹林の生長、上高田では社寺林や公園における樹林の生長が確認された。

表 4-7 町別の平成 19 年度調査と平成 28 年度調査の樹林の経年変化

町名	平成19年調査		平成28年調査		(平成28年)-(平成19年)	
	箇所	樹林面積 (m ²)	箇所数	樹林面積 (m ²)	箇所数	樹林面積 (m ²)
南台	10	18,083	15	17,759	5	-324
弥生町	15	14,484	17	25,395	2	10,911
本町	16	18,028	13	12,406	-3	-5,623
中央	10	10,790	14	15,577	4	4,787
東中野	22	17,947	21	26,068	-1	8,121
中野	29	50,820	29	34,192	0	-16,628
上高田	17	30,333	22	42,330	5	11,997
新井	12	40,950	6	54,704	-6	13,754
沼袋	10	18,196	7	16,590	-3	-1,606
松が丘	8	33,646	4	39,814	-4	6,168
江原町	9	98,010	14	22,834	5	-75,176
江古田	23	107,550	15	79,932	-8	-27,619
丸山	3	5,801	4	5,586	1	-216
野方	20	15,728	13	14,111	-7	-1,618
大和町	15	16,166	5	11,016	-10	-5,150
若宮	14	11,344	5	2,847	-9	-8,496
白鷺	35	49,459	15	33,114	-20	-16,345
鷺宮	13	14,161	4	4,277	-9	-9,884
上鷺宮	25	23,236	15	19,775	-10	-3,461
区全体	306	594,734	238	478,327	-68	-116,407

※面積は少数第1位を四捨五入するため集計値と合わない場合がある。

2) 形態別の経年変化

形態別の樹林の経年変化を表 4-8 に示す。

最も樹林面積が減少したのは、その他の樹林の-96,216 m² (28 箇所) であった。次いで集合住宅の樹林が-60,554 m² (23 箇所)、屋敷林が-13,862 m² (18 箇所) の減少であった。

その他の樹林の主な減少要因は、中野四丁目地区地区計画整備事業、大妻中野中学校・高等学校敷地内における施設の新設や未利用地（平成 19 年度時点）における住宅開発に伴う樹林の消失である。

集合住宅の樹林の主な減少要因は、公社中野駅前住宅における樹木の減少や公社鷺宮西住宅の樹木の剪定等に伴う樹林の減少、上鷺宮三丁目の集合住宅の再開発に伴う樹林の消失等が挙げられる。

また屋敷林は、住宅地の開発（集合住宅や戸建ての分譲住宅地の新設等）による減少が確認された。

一方、公園は樹林面積が 43,937 m² (3 箇所) 増加した。これは主に平和の森公園や江古田の森公園等の規模の大きい公園や中小規模の公園における樹林地の増加や樹木の生長によるものである。

表 4-8 形態別の平成 19 年度調査と平成 28 年度調査の樹林の経年変化

形態	平成19年調査		平成28年調査		(平成28年)-(平成19年)	
	箇所	樹林面積 (m ²)	箇所数	樹林面積 (m ²)	箇所数	樹林面積 (m ²)
屋敷林	50	57,785	32	43,923	-18	-13,862
社寺林	33	74,877	31	85,166	-2	10,289
公園の樹林	41	140,361	44	184,298	3	43,937
集合住宅の 樹林	63	99,429	40	38,875	-23	-60,554
その他の 樹林	119	222,282	91	126,066	-28	-96,216
区全体	306	594,734	238	478,327	-68	-116,407

※面積は少数第1位を四捨五入するため集計値と合わない場合がある。